

北方資料展

御曹子は北へ行く

— 北海道の義経伝説 —

期間…平成二十八年九月一日（木）

～十月二十七日（木）

場所…北海道立図書館 エントランスホール

《展示目録》

はじめに

源平合戦の武将・源義経。

日本で最も有名な英雄だと言っても過言ではないでしょう。

その最期は、文治5（1189）年、奥州・衣川館を藤原泰衡に攻められた末の自刃だったとされていますが、義経の死後、人々の間では義経は蝦夷に逃れて生き延びたという説がささやかれるようになります。さらに大正時代にはチンギス・ハン＝義経説が注目を浴び、論争を巻き起こしました。

今回の展示では、そんな北海道の義経伝説にまつわる資料を次の4つのコーナーに分けて紹介します。

- 1 高館の最期、伝説の始まり～室町・江戸時代の義経入夷説～
- 2 北海道各地の義経伝説
- 3 成吉思汗ハ源義経也？～明治以降の義経言説～
- 4 伝説は続いていく～最近の研究、義経伝説を扱った小説など～

1 高館の最期、伝説の始まり～室町・江戸時代の義経入夷説～

鎌倉時代の史書『吾妻鏡』には、義経の最期が記されています。

文治5（1189）年閏4月30日、奥州の衣川館にいた義経は、兄頼朝の命に従った藤原泰衡の軍に攻められます。応戦するも敗れた義経は、妻子を殺した後自刃したといいますが（衣川の戦い）。

義経の死後には、義経にまつわる様々な伝説や創作が生み出されました。そうした中で、義経の蝦夷渡りが語られるようになります。例えば、室町時代後期頃成立とされる御伽草子「御曹子島渡り」は、鬼王が持つ兵法の秘伝書を求めて、義経が蝦夷に渡る冒険譚です。また、寛文10（1710）年成立の『本朝通鑑』では、義経は衣川の戦いでは死なずに蝦夷に渡ったという俗説が紹介されています。

その後、義経入夷説は史書や文芸作品などで取り上げられて広まりました。『通俗義経蝦夷軍談』、『蝦夷勲功記』はそうした文芸作品の一つです。

No	書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	資料ID	備考
1	国史大系 32巻	黒板 勝美 // 編	国史大系刊行会	1932	210 422-32 157	1103735450	『吾妻鏡』
2	本朝通鑑 第9	[林 羅山 // 著]	国書刊行会	1919	081 032-7-9 8	1103675367	「続本朝通鑑」第79
3	日本古典文学大系 第38		岩波書店	1958	918 N 38	1102584685	「御曹子島渡り」
4	通俗義経蝦夷軍談	藤 英勝 // 著	[出版者不明]	1768	210.088 TS	1111133979	
5	蝦夷勲功記 1	永楽舎 一水 // 著	[出版者不明]	出版年不明	210.088 E	1111135990	

2 北海道各地の義経伝説

義経伝説は、道南や海沿いの地域を中心に北海道各地 110 ヶ所以上に伝わっています。

内容は九郎岳（乙部町）、弁慶岬（寿都町）といった地形や自然物にまつわるものがほとんどですが、中には「御曹子島渡り」と類似点が見られる話や、義経をアイヌの文化神とみなす話などもあります。

No	書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	資料ID	備考
6	江差名勝と伝説	畑山 定治 // 著	熊木書店	1936	388.182 HA	1102095468	「鷗島と伝説」
7	伝説蝦夷哀話集 全	石附 正男 // 著	石附省吾	1937	7.92 I	1101934311	「義経入夷説について」、「義経の甲冑」
8	北海道の口碑伝説	北海道 // 編	日本教育出版社	1940	388.1 HO	1102041645	「義経と弁慶」、「義経とシララ姫」、「弁慶の土俵」ほか
9	北海道伝説集 和人篇	渡辺 茂 // 著	楡書房	1956	388.1 W	1102041959	「義経蝦夷地巡り」
10	漁村民俗風土記	桜井 敬一 // 著	桜井社会調査研究室	1968	661.9 SA	1103308811	「フミキにまつわる悲恋の話」
11	松前蝦夷地義経伝説考	白山 友正 // 著	北海道経済史研究所	1972	210.04 SH	1101896312	
12	日本の民俗 1		第一法規出版	1974	382 TA	1102039805	「義経伝説」
13	日本の伝説 1		世界文化社	1978	388.1 NI	1102041819	「義経渡海伝説」
14	乙部むかしばなし	葉梨 孝幸 // 著	私設乙部町町史研究室	1978	388.1816 HA	1102095393	「九郎岳」、「姫川のこと」
15	北海道・ロマン伝説の旅続	浜 道人 // 著	噴火湾社	1978.9	291.04 HA	1101801437	
16	日本の民話 1		研秀出版	1981	388.1 NI	1102041835	「蝦夷の義経伝説」
17	ぷやら新書 第39巻 義経入夷伝説	和田 義雄 // 編集	沖積舎	1981.10	081 P 39	1102226303	
18	北海道の義経伝説	斧 二三夫 // 著	みやま書房	1981.12	210.04 0	1111379127	
19	知床半島西岸の地名と伝説	知床博物館 // 編	知床博物館	1984.3	7.29 SH	1101955407	「アシクネシユマ」、「イマイベウシ」ほか
20	十勝のアイヌ伝説	平原の手帖編集部 // 編	平原書房	1986.1	7.92 HE	1101934261	「大樹町アエブシユマの義経伝説」、「義経山の雨ごい」ほか

No	書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	資料ID	備考
21	研究 郷土史ひろしま町	大谷 義明 // 編著	広島町郷土史研究会	1986. 6	215. 56 KE	1111396881	「伝説源義経の宝」
22	北海道ふしぎふしぎ物語	合田 一道 // 著	幻洋社	1987. 1	388 G	1102041561	「義経が埋めた守り本尊？畑地から掘り起こされた大日如来」
23	ふるさとの自然と昔話	新冠郷土文化研究会 // 編	新冠郷土文化研究会	1988. 3	216. 14 NI	1101784690	「判官館に伝わる悲恋ロマンス」、「判官館の隠し彫」
24	豊頃よもやま話作品集あかだも	豊頃町豊寿大学文学部 // 編	豊頃町	1991	388. 1312 TO	1101000741	「義経と弁慶」
25	知床物語と伝説	村田 吾一 // 著	米内印刷(印刷)	1991	388. 119 SH	1101001293	「義経と弁慶」
26	北海道縁起物語	小林 成光 // 著	小林興業社	1992. 5	387 KO	1102041421	「船魂神社」、「義経神社」
27	おとべ百話	葉梨 孝幸 // 著	乙部町史研究室	1999. 6	388. 1816 O	1106132812	「九郎岳と姫川の伝説」、「静御前終焉の地」ほか
28	カムイ義経		平取町義経を語る会	2001. 11	210. 04 KA イ	1106550914	
29	伝説は生きている	高田 紀子 // 著	アイワード(印刷)	2007. 12	388. 1 D イ	1108998533	「積丹岬の女郎子岩(シララ姫君)」、「義経の涙石(アモイ岬)」ほか

3 成吉思汗ハ源義経也？～明治以降の義経言説～

明治時代には、蝦夷に渡った義経がさらに中国大陸へ渡り、モンゴル帝国の祖であるチンギス・ハンになったという説が唱えられました。この説は大正10(1924)年に小谷部全一郎が『成吉思汗ハ源義経也』を出版したことで注目を浴びます。小谷部の説は中島利一郎、金田一京助、島津久基を始めとした研究者達には否定されましたが、当時の世相も手伝ってチンギス・ハン＝義経説は人々に大きく知れ渡ることとなりました。

No	書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	資料ID	備考
30	義経再興記	内田 弥八 // 訳述	上田屋	1886. 2	210. 04 U	1101896692	
31	成吉思汗ハ源義経也	小谷部 全一郎 // 著	富山房	1924	210. 04 0	1101896023	
32	著述の動機と再論	小谷部 全一郎 // 著	富山房	1925. 10	210. 04 0	1111414460	
33	義経高館ニ死セズ	小野寺 亀蔵 // 著	三浦海晁	1925. 4	210. 04 0	1101832754	
34	義経入夷渡満説書誌	岩崎 克己 // 編	岩崎克己	1943	210. 04 I	1101895421	
35	金田一京助全集 第12巻	金田一京助全集編集委員会 // 編	三省堂	1993. 1	081. 6 K1 12	1102133087	「義経入蝦伝説考」、 「アイヌの義経伝説」 ほか
36	蝦夷天狗考	佐々木 船山 // 著	八幡書店	2008. 2	7. 04 SA	1110789300	「義経弁慶と『アイヌ』」
37	永田方正遺稿	永田 方正 // 著	[出版者不明]	[出版年不明]	291. 04 NA	1101801957	「義経蝦韃考 上・中・下」
38	吉田巖遺稿資料 122	吉田 巖 // 著			7. 08 Y 122	1102246822	「源義経入夷並ニ末路考」

4 伝説は続いていく～最近の研究、義経伝説を扱った小説など～

第2次大戦後も義経北行説は度々取り上げられています。現在も新しい研究が発表されている他、小説を始めとした創作の題材としても扱われ、義経伝説は現代においても広がりを見せています。

No	書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	資料ID	備考
39	義経は生きていた	佐々木 勝三 // 著	東北社	1958	210.04 SA	1101896155	
40	義経埋宝伝説殺人事件	荒巻 義雄 // 著	講談社	1985.10	F A イ	1106615352	
41	なぜ義経がジンギスカンになるのか	本多 貢 // 著	北海道教育社	1986.4	210.04 HO イ	1101895355	
42	源義経・伝説に生きる英雄	関 幸彦 // 著	清水書院	1990.7	210.04 SE	1101896239	
43	義経伝説の謎	佐々木 勝三 // [ほか]共著	勁文社	1991.6	210.04 SA	1101896148	
44	日本の埋蔵金100話	八重野 充弘 // 著	立風書房	1993.9	210.04 NI	1101895967	「源義経の埋蔵金」
45	アイヌ史を見つめて	平山 裕人 // 著	北海道出版企画センター	1996.1	7.2 HI イ	1111031025	「アイヌの義経伝承」
46	義経はどこへ消えた?	中津 文彦 // 著	PHP研究所	1996.11	210.04 NA	1105159931	
47	北海道義経伝説序説	阿部 敏夫 // 編著	響文社	2002.4	210.04 A	1106560665	
48	義経伝説をつくった男	土井 全二郎 // 著	光人社	2005.11	289 0	1108591874	
49	異国征伐戦記の世界	金 時徳 // 著	笠間書院	2010.12	210.04 I	1110150784	「義経入夷説と朝鮮軍記物」
50	義経の冒険	金沢 英之 // 著	講談社	2012.10	913.49 KA	1111422414	
51	北海道民間説話〈生成〉の研究	阿部 敏夫 // 著	共同文化社	2012.3	388.1 HO	1110804083	「北海道の義経伝説」

〈主な参考文献〉

『アイヌ史を見つめて』 平山 裕人 // 著 北海道出版企画センター 1996年

『北海道義経伝説序説』 阿部 敏夫 // 編著 響文社 2002年

『北海道民間説話〈生成〉の研究』 阿部 敏夫 // 著 共同文化社 2012年

「義経「蝦夷征伐」物語の生誕と機能」 菊地 勇夫 // 著 (『史苑』第42巻第1・2号 1982年5月)

北方資料展

「御曹子は北へ行く～北海道の義経伝説～」展示目録

2016年10月発行

編集：北海道立図書館北方資料室 発行：北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL:011-386-8521 FAX:011-386-6906

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>